



未来への一步

~Let's create the future together~

第078号

発行：兵庫県立播磨特別支援学校

はりゴン

〒679-4002 たつの市揖西町中垣内乙135番地1

TEL (0791) 66-0091 URL <http://www.hyogo-c.ed.jp/~harima-sn/>

FAX (0791) 66-0092 E-mail harima-sn@hyogo-c.ed.jp

第3学年総合探究フィールドワーク

11月10日(金)に、第3学年で総合的な探究の時間にフィールドワークを行いました。午前中に姫路商工会議所に行き企業側の立場からSDGsへの取り組みについて話を聞きました。午後からは、探究のテーマごとにグループに分かれて行動しました。『eco eat 姫路二階町店』では食品ロスについて、『そらにじみめじ』ではLGBTについて、それぞれの取り組みなどについて教えていただきました。『イーグレひめじ』では、男女共同参画社会の実現をめざした取り組みをお聞きました。『ROBO DINING手延べの掟』では、最先端技術を使って調理するところを見学し、企業側の苦労話を伺うことができました。生徒は、「食べ物の事例でさまざまな工夫をしている会社があることがわかった。」「SDGsは企業側も消費者側も良いところがあることがわかった。」「フィールドワークで知ったことを今後に活かしたい。」などと感想を持ち、フィールドワークを通して、個人でできる解決策を考えるきっかけになりました。



第3回販売実習～就業技術科第3学年～

11月15日(水)、16日(木)の2日間、イオンモール姫路リバーシティにて就業技術科第3学年が販売実習を実施しました。製作実習で製作した「生産(木工)・工芸(陶工)・園芸・環境(皮革)」の4つのコースの商品を販売しました。生徒たちは、商品説明・案内、レジ、包装と各係が協力、連携して最後の販売実習に一生懸命に取り組むことができました。周囲の状況に合わせての接客対応や係を超えて自発的に呼び込みを行う様子も見られ、成長を感じる嬉しい機会となりました。

保護者の皆様をはじめ、毎年楽しみにしてくださっているたくさんの方々にご来店いただき、生徒たちもとても喜んでいました。本当にありがとうございました。



Café はりま

11月22日(水)、マックスバリュ龍野店で、産学連携事業の「Café はりま」がオープンしました。天気にも恵まれ、日差しが暖かい一日でした。就業技術科5名の生徒が、開店準備や接客、チラシ配り、コーヒーをドリップして淹れるなど、みんなで協力してお店を運営しました。「いらっしゃいませ。美味しいコーヒーとお菓子はいかがですか?」とお客様に元気に声をかけることができ、たくさん来店していただきました。「学校はどこにあるの?」「どのお菓子がおいしい?」などお客様からの質問に答えたり、自分の仕事内容をマニュアルで確認したりしながら、進めることができました。どんなふうにお客様に声をかけたらチラシを受け取ってくださるか工夫し、配り終えたときには達成感を感じることもできました。そのチラシを手に、たくさんご来店いただき、ありがとうございました。播磨特別支援学校の販売実習の話をしてくださるお客様もいて、嬉しかったです。

12月6日(水)にも「Café はりま」がオープンし、寒い一日でしたが、大盛況のうちに終わることができました。

次回は、1月17日(水)の予定です。生徒たちが淹れた美味しいコーヒーをぜひ飲みにご来店ください。お待ちしております。



発行日：R5.12.22

第3学年性教育講演会

12月1日(金)に、みさ助産院の助産師、前田美佐代先生を講師にお招きし、第3学年を対象に性教育講演会を実施しました。「思春期支援教室Ⅲ～みんなのしあわせのために～」というテーマで、幸せな人生を築くため、どのような行動を自らが選択するべきだろうかという観点からお話をしてくださりました。

人生100年時代を幸せに生き抜くためのキーワードである「適度な運動と筋トレ、バランスのとれた食事、仕事以外の楽しみを持つ」ことの重要性や、相手を思いやり、より良い距離感を取った交友関係を築くことの大切さを学びました。また、人間関係、特に性トラブルの回避や対処法について、生徒たちは興味を持って真剣に話を聴いていました。

卒業後は自ら判断して、生きていかなければなりません。卒業を控えた大切な時期に、社会に出てから遭遇するであろう人間関係、特に性トラブルに関して専門家の立場からお話を聴くことができ、とても意義あるものとなりました。

